



平成27年度 文化資料館特別展

茅ヶ崎の海岸のいきものたち

茅ヶ崎市教育委員会

ごあいさつ

茅ヶ崎市の地理的な特徴の一つは、相模湾に面していることです。海岸部では、その環境に適した動植物が生息・生育しています。

茅ヶ崎市文化資料館では、市民ボランティアと協力し、現在の茅ヶ崎の海岸にはどのような動植物が生息・生育しているのかを記録するために、2012(平成24)年から約3年間をかけて海岸の動植物の分布調査を行いました。

本展では、約3年間にわたる調査をとおして得られたデータをもとに、茅ヶ崎の海岸のいきものについて、動植物の標本や写真を中心に紹介いたします。

なお、展示しております標本資料や写真資料は、多くの市民の皆様にご協力をいただき収集したものです。海岸調査及び資料収集にご協力いただきました市民の皆様へ深く御礼申し上げます。

平成28年2月

茅ヶ崎市教育委員会

本展は、文化資料館の市民ボランティアのみなさまと行った調査結果をもとに、構成しております。

【調査範囲】 茅ヶ崎市の海岸線約6km
海岸側から砂防林の隣接部まで

【調査期間】

2012年 予備調査

2013～2014年 本調査

2015年 補充調査

海岸の気候

茅ヶ崎の海岸は、海岸特有の温暖な気候です。

気温は、最も寒い1～2月と、最も暖かい7～8月の気温の差が約20℃であり、県内でも寒い時期と暖かい時期の差が最も小さい地域の一つです。

風は、1年をとおして相模湾から吹き上げてくる南の風が多く、砂丘を形成する要因となっています。

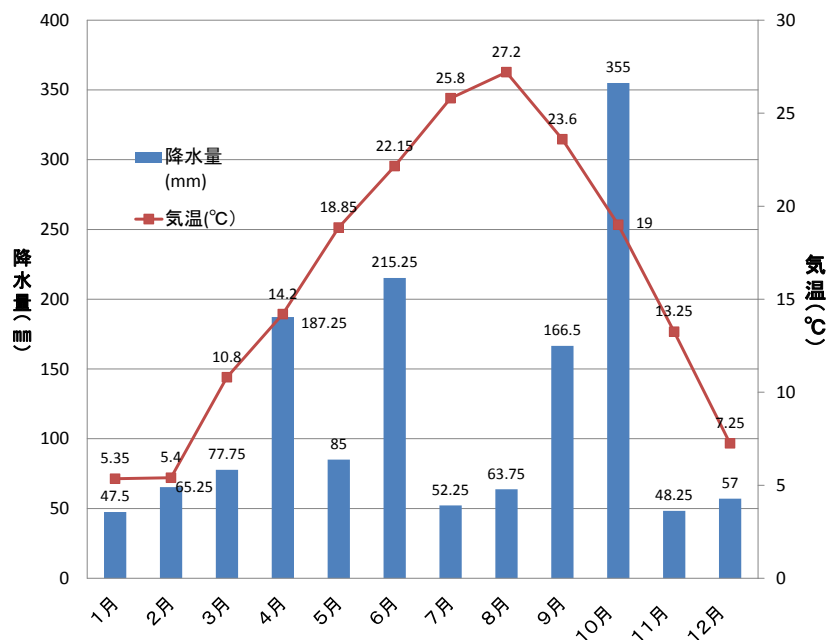


図 茅ヶ崎市の降水量と気温の変化（平成25～26年の平均）
（茅ヶ崎市統計データから）

海岸養浜

参考文献：神奈川県(2011) 相模湾沿岸海岸侵食対策計画。
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160298/>

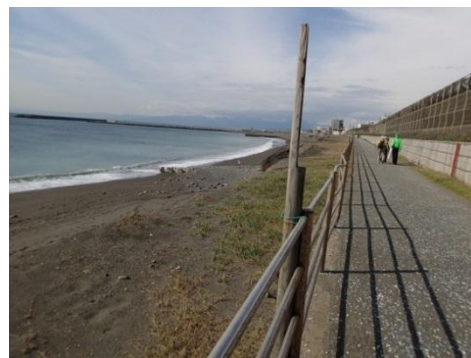
茅ヶ崎の海岸は、以前は砂丘が広がる海岸でしたが、河川からの土砂供給の減少により、1954年を基準として1985年までに、海岸部の菱沼地区・柳島地区で約40m、中海岸地区で約60m海岸線が後退しました。1985年から2007年ではヘッドランド、茅ヶ崎漁港西側が前進しているのを除き、砂浜が後退した状態になっています。

このため、護岸崩壊の恐れや、海岸利用への影響が生じました。また、海浜を生息基盤とする海浜植物の生育環境も変化しました。これらの対策として、茅ヶ崎海岸部（柳島地区）では、構造物と土砂を用いた養浜による砂浜回復の試みがなされています。

現在、養浜整備として柳島地区、中海岸地区（相模川水系の土砂）・菱沼地区（飛砂）において土砂を供給し砂浜維持が行なわれています。



海岸部（中海岸地区）



サイクリングロード（中海岸地区）

海岸の地形・地質

茅ヶ崎の地形は、北部の丘陵地(きゅうりょうち)と相模川や小出川周辺の沖積低地(ちゅうせきていち)(河川によって運ばれた土砂等が堆積したところ)、丘陵地から海岸までの間に広がる砂丘地(さきゅうち)の3つに分けられます。

北部の丘陵地から海岸までは、約4 kmにわたり砂丘が広がっています。また、柳島の西側地域の一部は、沖積低地が関東大震災によって隆起したところがあります。

海岸の植物

海岸周辺部には、海水や砂の移動等の海浜環境に適応した、海浜性・海岸性の植物が生育しています。また、砂防林の整備によるクロマツや海岸性植物の植栽が行われています。

近年、茅ヶ崎の海岸は、河川からの土砂の供給の減少がおよぼす海岸侵食により砂浜が後退しており、砂の搬入などの整備が行われています。そのため、波打ち際に近いところは侵食や整備工事による海浜環境の変化が大きく、海浜性・海岸性植物の生育環境が短期間に変化しています。

今回、茅ヶ崎の海岸全域の踏査を行い維管束植物の調査を行った結果、計 186 種が確認されました。海浜草地の植物としては、ツルナ、ハマヒルガオやコウボウシバ、コウボウムギなどが全域にわたり確認されました。

砂浜が広がる汐見台やヘッドランド周辺部、茅ヶ崎漁港周辺の海岸ではコウボウシバやハマヒルガオなどの海浜植物の群落が見られます。これらの植物は海岸の砂の移動に適応するために砂の下に地下茎をのばしています。これらを掘り起こしてみると、ハマヒルガオの地下茎は約 5m つながっている事が確認されました。



ハマヒルガオ(手前)とコウボウムギ



ハマニガナ

相模湾に面している茅ヶ崎では、古くは縄文時代から海のいきものたちを獲っていました。江戸時代以降、小和田・茅ヶ崎・柳島といった地域を中心に、漁業を行っていました。

地引網でイワシやシコ（カタクチイワシ）を、定置網でブリを、巻網でスズキなどを、釣でアジ・サバ・カツオを獲っていました。また、柳島や平太夫新田では川漁が行われていました。

オキアガリ

漁を終えると、ヒキコは網元の家に寄って、夏ならばナスやキュウリと捕れた小魚を酢の物にして、酒を飲みながら休みました。これを「オキアガリ」といいます。網元の男の人は、昼食後一眠りして、午後3時頃再び海岸に行き、昼前干した網をしまいながら、翌日の支度をします。午後4時頃には夕食をとり寝てしまい、明日の早朝の漁に備えました。

漁師の一日

一日の始まり

網元の日は午前1時前に始まります。海岸に行き、天候、風向き、潮の流れ具合等を確認、網を張る場所を決め、船を出して沖で待ちます。午前2時過ぎには、網元の年寄りや女の人、子どもが、漁が始めるのを、「ハマダヨー」といいながら地引網を引くヒキコの人家の戸をたたき、知らせてまわります。これを「ハマフレ」といいます。引く準備ができると、明るくなる頃、浜では麦わらに火をつけて振り、それを合図に、沖の船は網を降ろしながら海岸に着け、ヒキコは網を引き始めます。網を上げ終わると2度目の網を入れるため、上げた網を船に乗せて沖に出ます。こうして午前中で3回から5回、網を引きます。

弁当と飲み水

朝食は、ヒキコの家の人メソツウという容れ物等に弁当を詰め、網元の女の人が、それを持って海岸に行きました。飲み水は、海岸近くの別荘からもらい樽で運んだり、海に注ぐ小川の水を飲んだりしました。通常、漁は午前で終わりますが、大漁で午後も続けるときは、若い者がヒキコの家で昼の弁当を作るように言いながら網元まで帰り、網元の弁当が用意できると、ヒキコの家で弁当を受け取りながら海岸に戻りました。弁当は、麦飯にアジ等の干物や塩鮭を焼いたものでした。

メソツウと網製の袋



漂着物

海が荒れたあとなどに、海岸には、波の運んできた漂着物が流れ着きます。

海藻類や貝類は、それぞれの生息している場所があり、どのような生育生息環境から流れてきたのかを推測する事ができます。海岸の漂着物を調査した結果、貝類は約 80 種、海藻類は約 30 種確認する事ができました。

また、冬季に海が荒れたあとには貝類の漂着が多くなり、サクラガイの仲間のカバザクラなどが打ちあがっているのを多く見ることができます。



打上げられた海藻（カジメ）



カバザクラ

海岸の甲殻類

砂浜が広がったヘッドランド周辺、漁港や柳島海岸の周辺にはスナガニなどが掘った巣穴が見られます。また、波打ち際から海中にはキンセンガニ、岩礁や構造物にはイソガニやフナムシ、海に近い陸部にはアカテガニなど陸生のカニが生息しています。

茅ヶ崎漁港西側の砂浜で、スナガニ等の巣穴を調査した結果、密度が高い所では 1m×1m の範囲で 3 個程度の巣穴が確認されました。巣穴の型取りをしたところ、巣穴の深さは最大 40cm ありました。



キンセンガニ



スナガニ

海岸の野鳥

海辺には、砂浜や水域を利用する野鳥が見られます。シギやチドリの仲間は波打ち際や干潟に生息し、砂や泥の中のゴカイやカニ、砂や泥の表面の有機物を食物としています。

海面には魚類を食物とするカンムリカイツブリが見られます。また、上空には雑食のトビが飛翔し、まれにミサゴも見られます。調査では約 30 種の鳥類を確認する事ができました。



トビ



カンムリカイツブリ



ハマシギ

海岸の昆虫

砂浜には、打ち上げられたゴミや海藻に海岸性のハエの仲間、ゴミムシの仲間、エンマムシの仲間等が生息し、砂地には地表面を歩く昆虫を捕食するウスバカゲロウの幼虫（アリジゴク）の仲間が生息しています。また、海岸のハマボウフウやアシタバといった海浜性のセリ科植物が生育しているところには、セリ科植物を食草とするキアゲハの幼虫が見られます。



キアゲハの幼虫

地域の「自然」を記録し保存する

地域の自然環境は、時代の移り変わりとともに変化しています。

本展では、約3年間にわたる海岸部調査の結果をもとに、当館で収蔵している茅ヶ崎の海岸の動植物に関する資料を中心に紹介しました。このような地域の自然環境を伝えてくれる資料は、地域の現在・過去・未来を考える上で欠かすことのできない貴重なものです。

文化資料館では、地域の「自然」を記録し、保存し、次世代に伝えるため、今後も市民の皆様と協力した博物館活動を展開してまいります。



平成27年度 文化資料館特別展「茅ヶ崎の海岸のいきものたち」

主催 茅ヶ崎市教育委員会

茅ヶ崎市文化資料館（担当：馬谷原、須藤）

発行 平成28（2016）年2月

http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bunka_rekishi/bunkashiryokan/shiryokan@city.chigasaki.kanagawa.jp

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

| 展示ブロック順 | 科名 | 種名 | 学名 |
|---------|------|----------|--|
| 1 | 海岸植物 | セリ科 | ハマボウフウ <i>Glehnia littoralis</i> |
| 2 | | ヒルガオ科 | ハマヒルガオ <i>Calystegia soldanella</i> |
| 3 | | キク科 | ハマニガナ <i>Ixeris repens</i> |
| 4 | | カヤツリグサ科 | コウボウシバ <i>Carex pumila</i> |
| 5 | | カヤツリグサ科 | コウボウムギ <i>Carex kobomugi</i> |
| 6 | | イネ科 | ギョウギシバ <i>Cynodon dactylon</i> |
| 7 | | マメ科 | ハマエンドウ <i>Lathyrus japonicus</i> |
| 8 | | アブラナ科 | ハマダイコン <i>Raphanus sativus f. raphanistroides</i> |
| 9 | | ラン科 | ハマカキラン <i>Epipactis papillosa var. sayekiana</i> |
| 10 | | バラ科 | マルバシャリンバイ <i>Rhaphiolepis indica var. umbellata</i> |
| 11 | | バラ科 | デリハノイバラ <i>Rosa luciae Rochebr</i> |
| 12 | | トベラ科 | トベラ <i>Pittosporum tobira</i> |
| 13 | | クマツツラ科 | ハマゴウ <i>Vitex rotundifolia</i> |
| 14 | | ツルナ科 | ツルナ <i>Tetragonia tetragonoides</i> |
| 15 | | セリ科 | アシタバ <i>Angelica keiskei</i> |
| 16 | | アカネ科 | オオフタバムグラ <i>Diodia teres</i> |
| 17 | | ネナシカズラ科 | アメリカネナシカズラ <i>Cuscuta campestris</i> |
| 18 | | イネ科 | フシゲチガヤ <i>Imperata cylindrica</i> |
| 19 | | アカザ科 | マルバアカザ <i>Chenopodium acuminatum</i> |
| 20 | | ツツラフジ科 | アオツツラフジ <i>Cocculus trilobus</i> |
| 21 | | グミ科 | アキグミ <i>Elaeagnus umbellata var. umbellata</i> |
| 22 | | クワ科 | イヌビワ <i>Ficus erecta</i> |
| 23 | | マツ科 | クロマツ <i>Pinus thunbergii</i> |
| 24 | | ナデシコ科 | マンテマ <i>Silene gallica var. quinquevulnera</i> |
| 25 | | アブラナ科 | マメグンバイナズナ <i>Brassica juncea</i> |
| 26 | | ニシキギ科 | ツルオオバマサキ <i>Euonymus japonicus f. radioifer</i> |
| 27 | | キク科 | セイタカアワダチソウ <i>Solidago altissima</i> |
| 28 | 海藻 | アオサ科 | ヤブレグサ <i>Umbraulva japonica</i> |
| 29 | | ミル科 | ミル <i>Codium fragile</i> |
| 30 | | ホンダワラ科 | アカモク <i>Sargassum horneri</i> |
| 31 | | ホンダワラ科 | マメタワラ <i>Sargassum piluliferum</i> |
| 32 | | ホンダワラ科 | ヨレモク <i>Sargassum siliquastrum</i> |
| 33 | | ホンダワラ科 | ノコギリモク <i>Sargassum macrocarpum</i> |
| 34 | | ホンダワラ科 | ヒジキ <i>Sargassum fusiforme</i> |
| 35 | | ホンダワラ科 | オオバモク <i>Sargassum ringgoldianum</i> |
| 36 | | ホンダワラ科 | オオバノコギリモク <i>Sargassum giganteifolium</i> |
| 37 | | コンブ科 | アラメ <i>Eisenia bicyclis</i> |
| 38 | | コンブ科 | カジメ <i>Ecklonia cava</i> |
| 39 | | ケヤリモ科 | イチメガサ <i>Carpomitra costata</i> |
| 40 | | テングサ科 | マクサ <i>Gelidium elegans</i> |
| 41 | | ムカデノリ科 | スジムカデ <i>Grateloupia ramosissima</i> |
| 42 | | ユカリ科 | ユカリ <i>Plocamium telfairiae</i> |
| 43 | | ムカデノリ科 | ツノムカデ <i>Grateloupia cornea</i> |
| 44 | | ツカサノリ科 | ヒロハノトサカモドキ <i>Callophyllis crispata</i> |
| 45 | | ムカデノリ科 | ヒチリメン <i>Grateloupia sparsa</i> |
| 46 | 貝類 | ヨメガカサガイ科 | ヨメガカサ <i>Cellana toreuma</i> |
| 47 | | ヨメガカサガイ科 | ベッコウガサ <i>Cellana grata</i> |
| 48 | | ヨメガカサガイ科 | マツバガイ <i>Cellana nigrolineata</i> |
| 49 | | ユキノカサガイ科 | コガモガイ <i>Lottia kogamogai</i> |
| 50 | | スカシガイ科 | クズヤガイ <i>Diodora sieboldii</i> |
| 51 | | スカシガイ科 | テンガイ <i>Diodora quadriradiatus</i> |
| 52 | | ニシキウスガイ科 | アシヤガイ <i>Granata lyrata</i> |
| 53 | | ニシキウスガイ科 | イシダタミ <i>Monodonta confusa</i> |
| 54 | | ニシキウスガイ科 | ダンベイキサゴ <i>Umbonium giganteum</i> |
| 55 | | ニシキウスガイ科 | キサゴ <i>Umbonium costatum</i> |
| 56 | | ニシキウスガイ科 | クマノコガイ <i>Chlorostoma xanthostigma</i> |
| 57 | | ニシキウスガイ科 | エビスガイ <i>Calliostoma unicum</i> |
| 58 | | ニシキウスガイ科 | クボガイ <i>Chlorostoma lischkei</i> |
| 59 | | ニシキウスガイ科 | ウズイチモンジ <i>Trochus rota</i> |
| 60 | | ニシキウスガイ科 | クビレクロツケ <i>Monodonta perplexa perplexa</i> |
| 61 | | ニシキウスガイ科 | バテイラ <i>Omphalius pfeifferi pfeifferi</i> |
| 62 | | ウミナナ科 | ウミナナ <i>Batillaria multiformis</i> |
| 63 | | カリバガサ科 | アワブネガイ <i>Crepidula grayispinosus</i> |
| 64 | | カリバガサ科 | シマノウフネガイ <i>Crepidula onyx</i> |
| 65 | | タカラガイ科 | オミナエシダカラ <i>Cypraea bovinii</i> |
| 66 | | タカラガイ科 | クロダカラ <i>Cypraea listeri</i> |
| 67 | | タカラガイ科 | チャイロキヌタ <i>Cypraea artuffeli</i> |

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

| 展示ブロック順 | 科名 | 種名 | 学名 | |
|---------|----------|--------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 68 | タカラガイ科 | ハツユキダカラ | <i>Cypraea miliaris</i> | |
| 69 | タカラガイ科 | メダカラ | <i>Cypraea gracilis</i> | |
| 70 | タカラガイ科 | ナツメモドキ | <i>Cypraea errones</i> | |
| 71 | タカラガイ科 | ハナマルユキ | <i>Cypraea caputserpentis</i> | |
| 72 | タマガイ科 | ツツミガイ | <i>Sinum planulatum</i> | |
| 73 | タマガイ科 | ツメタガイ | <i>Glossaulax didyma</i> | |
| 74 | タマガイ科 | ネコガイ | <i>Eunaticina papilla</i> | |
| 75 | トウカムリ科 | カズラガイ | <i>Phalium flammiferum</i> | |
| 76 | フジツガイ科 | カコボラ | <i>Cymatium parthenopeum</i> | |
| 77 | イトカケガイ科 | ネジガイ | <i>Gyroscala lamellosa</i> | |
| 78 | アッキガイ科 | イボニシ | <i>Thais clavigera</i> | |
| 79 | アッキガイ科 | ヒメヨウラク | <i>Ergalatax contractus</i> | |
| 80 | アッキガイ科 | レイシガイ | <i>Thais bronni</i> | |
| 81 | アッキガイ科 | レイシダマシ | <i>Morula granulata</i> | |
| 82 | アッキガイ科 | クリフレイシ | <i>Thais luteostoma</i> | |
| 83 | フトコロガイ科 | ボサツガイ | <i>Anachis misera misera</i> | |
| 84 | フトコロガイ科 | ムギガイ | <i>Mitrella bicincta</i> | |
| 85 | ムシロガイ科 | ムシロガイ | <i>Niotha livescens</i> | |
| 86 | マクラガイ科 | ホタルガイ | <i>Olivella japonica</i> | |
| 87 | コロモガイ科 | コロモガイ | <i>Cancellaria spengleriana</i> | |
| 88 | タケノコガイ科 | ヒメトクサ | <i>Brevimyurella japonica</i> | |
| 89 | タケノコガイ科 | シラネタケ | <i>Hastulopsis melanacme</i> | |
| 90 | カラマツガイ科 | ククノハナガイ | <i>Siphonaria sirius</i> | |
| 91 | カラマツガイ科 | カラマツガイ | <i>Siphonaria japonica</i> | |
| 92 | フネガイ科 | エガイ | <i>Barbatia lima</i> | |
| 93 | フネガイ科 | サトウガイ | <i>Scapharca satowi</i> | |
| 94 | フネガイ科 | サルボウガイ | <i>Scapharca kagoshimensis</i> | |
| 95 | フネガイ科 | カリガネエガイ | <i>Barbatia virescens</i> | |
| 96 | タマキガイ科 | ベンケイガイ | <i>Glycymeris albolineata</i> | |
| 97 | タマキガイ科 | ミタマキガイ | <i>Glycymeris imperialis</i> | |
| 98 | タマキガイ科 | シンクロセウチワ | <i>Tucetona sinkurosensis</i> | |
| 99 | イガイ科 | ヒバリガイ | <i>Modiolus nipponicus</i> | |
| 100 | イガイ科 | ミドリイガイ | <i>Perna viridis</i> | |
| 101 | イガイ科 | ムラサキイガイ | <i>Mytilus galloprovincialis</i> | |
| 102 | イガイ科 | ホトトギスガイ | <i>Musculista senhousia</i> | |
| 103 | イタヤガイ科 | イタヤガイ | <i>Pecten albicans</i> | |
| 104 | ウミギク科 | チリボタン | <i>Spondylus cruentus</i> | |
| 105 | ナミマガシワ科 | ナミマガシワ | <i>Anomia chinensis</i> | |
| 106 | イタボガキ科 | イワガキ | <i>Crassostrea nippona</i> | |
| 107 | イタボガキ科 | マガキ | <i>Crassostrea gigas</i> | |
| 108 | フタバシラガイ科 | ヤエウメ | <i>Phlyctiderma japonicum</i> | |
| 109 | トマヤガイ科 | トマヤガイ | <i>Cardita leana</i> | |
| 110 | バカガイ科 | チヨノハナガイ | <i>Raetellops pulchellus</i> | |
| 111 | バカガイ科 | バカガイ | <i>Mactra chinensis</i> | |
| 112 | フシノハナガイ科 | フシノハナガイ | <i>Chion semigranosa</i> | |
| 113 | ニッコウガイ科 | カバザクラ | <i>Nitidotellina iridella</i> | |
| 114 | ニッコウガイ科 | サクラガイ | <i>Nitidotellina hokkaidoensis</i> | |
| 115 | シオサザナミ科 | イソシジミ | <i>Nattalia japonica</i> | |
| 116 | マルスタレガイ科 | アサリ | <i>Ruditapes philippinarum</i> | |
| 117 | マルスタレガイ科 | チョウセンハマグリ | <i>Meretrix lamarckii</i> | |
| 118 | マルスタレガイ科 | コタマガイ | <i>Gomphina melanegis</i> | |
| 119 | マルスタレガイ科 | ウスレガイ | <i>Cyclosunetta menstrualis</i> | |
| 120 | クチベニガイ科 | クチベニガイ | <i>Solidicorbula erythrodon</i> | |
| 121 | 甲殻類 | スナガニ科 | スナガニ | <i>Ocypode stimpsoni</i> |
| 122 | | ガザミ科 | タイワンガザミ | <i>Portunus pelagicus</i> |
| 123 | | ガザミ科 | イシガニ | <i>Charybdis japonica</i> |
| 124 | | モクズガニ科 | イソガニ | <i>Hemigrapsus sanguineus</i> |
| 125 | | ベンケイガニ科 | アカテガニ | <i>Chiromantes haematocheir</i> |
| 126 | | キンセンガニ科 | キンセンガニ | <i>Matuta victor</i> |
| 127 | | フジツボ科 | オオアカフジツボ | <i>Megabalanus volcano</i> |
| 128 | | エボシガイ科 | エボシガイ | <i>Lepas anatifera</i> |
| 129 | | ヨコエビ亜目 | ヨコエビの一種 | <i>Gammaridea</i> sp. |
| 130 | | フナムシ科 | フナムシ | <i>Ligia exotica</i> |
| 131 | | スナガニの巣穴型取り標本 | | |
| 132 | 鳥類 | カイツブリ科 | カンムリカイツブリ | <i>Podiceps cristatus</i> |
| 133 | | ウ科 | カワウ | <i>Phalacrocorax carbo</i> |

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

| 展示ブロック順 | 科名 | 種名 | 学名 | |
|---------|---------|------------|--------------------------------|--|
| 134 | サギ科 | コイサギ | <i>Nycticorax nycticorax</i> | |
| 135 | カモ科 | ヒドリガモ | <i>Anas penelope</i> Linnaeus | |
| 136 | カモ科 | コガモ | <i>Anas crecca</i> | |
| 137 | タカ科 | ミサゴ | <i>Pandion haliaetus</i> | |
| 138 | タカ科 | トビ | <i>Milvus migrans</i> | |
| 139 | タカ科 | ツミ | <i>Accipiter gularis</i> | |
| 140 | クイナ科 | オオバン | <i>Fulica atra</i> | |
| 141 | チドリ科 | シロチドリ | <i>Charadrius alexandrinus</i> | |
| 142 | チドリ科 | コチドリ | <i>Charadrius dubius</i> | |
| 143 | シギ科 | ハマシギ | <i>Calidris alpina</i> | |
| 144 | シギ科 | イソシギ | <i>Actitis hypoleucos</i> | |
| 145 | シギ科 | チュウシャクシギ | <i>Numenius phaeopus</i> | |
| 146 | シギ科 | ミユビシギ | <i>Calidris alba</i> | |
| 147 | シギ科 | キョウジョシギ | <i>Arenaria interpres</i> | |
| 148 | シギ科 | オオソリハシシギ | <i>Limosa lapponica</i> | |
| 149 | シギ科 | キアシシギ | <i>Tringa brevipes</i> | |
| 150 | カモメ科 | ユリカモメ | <i>Larus ridibundus</i> | |
| 151 | カモメ科 | ウミネコ | <i>Larus crassirostris</i> | |
| 152 | ハト科 | キジバト | <i>Streptopelia orientalis</i> | |
| 153 | ハト科 | アオバト | <i>Sphenurus sieboldii</i> | |
| 154 | カワセミ科 | カワセミ | <i>Alcedo atthis</i> | |
| 155 | ヒヨドリ科 | ヒヨドリ | <i>Hypsipetes amaurotis</i> | |
| 156 | キツツキ科 | コゲラ | <i>Dendrocopos kizuki</i> | |
| 157 | ツバメ科 | ツバメ | <i>Hirundo rustica</i> | |
| 158 | モズ科 | モズ(オス) | <i>Lanius bucephalus</i> | |
| 159 | セキレイ科 | ハクセキレイ | <i>Motacilla alba lugens</i> | |
| 160 | セキレイ科 | ビンズイ | <i>Anthus hodgsoni</i> | |
| 161 | ヒタキ科 | ツグミ | <i>Turdus naumanni</i> | |
| 162 | ヒタキ科 | アカハラ | <i>Turdus chrysolaus</i> | |
| 163 | ヒタキ科 | キビタキ | <i>Ficedula narcissina</i> | |
| 164 | ヒタキ科 | ジョウビタキ | <i>Phoenicurus aureus</i> | |
| 165 | ヒタキ科 | マミチャジナイ | <i>Tarsiger cyanurus</i> | |
| 166 | ヒタキ科 | センダイムシクイ | <i>Phylloscopus coronatus</i> | |
| 167 | ヒタキ科 | キビタキ | <i>Ficedula narcissina</i> | |
| 168 | ヒタキ科 | ルリビタキ | <i>Tarsiger cyanurus</i> | |
| 169 | ヒタキ科 | ウグイス | <i>Cettia diphone</i> | |
| 170 | シジュウカラ科 | シジュウカラ | <i>Parus minor</i> | |
| 171 | シジュウカラ科 | ヤマガラ | <i>Parus varius</i> | |
| 172 | エナガ科 | エナガ | <i>Aegithalos caudatus</i> | |
| 173 | メジロ科 | メジロ | <i>Zosterops japonicus</i> | |
| 174 | ホオジロ科 | ホオジロ | <i>Emberiza cioides</i> | |
| 175 | アトリ科 | カワラヒワ | <i>Carduelis sinica</i> | |
| 176 | ムクドリ科 | ムクドリ | <i>Sturnus cineraceus</i> | |
| 177 | ハタオリドリ科 | スズメ | <i>Passer montanus</i> | |
| 178 | カラス科 | オナガ | <i>Cyanopica cyana</i> | |
| 179 | カラス科 | ハシボソガラス | <i>Corvus corone</i> | |
| 180 | カラス科 | ハシブトガラス | <i>Corvus macrorhynchos</i> | |
| 181 | 哺乳類 | イヌ科 | ホンドタヌキ | <i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i> |
| 182 | | ジャコウネコ科 | ハクビシン | <i>Paguma larvata</i> |
| 183 | 軟体動物 | アメフラシ科 | アメフラシ | <i>Aplysia krodai</i> |
| 184 | | ウミサボテン科 | ウミサボテン | <i>Cavemularia obesa</i> |
| 185 | 魚類 | ウナギ科 | ニホンウナギ | <i>Anguilla japonica</i> |
| 186 | | ニシン科 | サッパ | <i>Sardinella zunasi</i> |
| 187 | | カタクチイワシ科 | カタクチイワシ | <i>Engraulis japonicus</i> |
| 188 | | ボラ科 | コボラ | <i>Chelon macrolepis</i> |
| 189 | | ボラ科 | ボラ | <i>Mugil cephalus</i> |
| 190 | | ヒイラギ科 | ヒイラギ | <i>Leiognathus nuchalis</i> |
| 191 | | ハゼ科 | マハゼ | <i>Acanthogobius flavimanus</i> |
| 192 | | フグ科 | キタマクラ | <i>Canthigaster rivulata</i> |
| 193 | 昆虫 | ハサミムシ科 | ハマバハサミムシ | <i>Anisobabis maritima</i> |
| 194 | | オオハサミムシ科 | オオハサミムシ | <i>Labidura riparia japonica</i> |
| 195 | | オオメナガカメムシ科 | ヒメオオメカメムシ | <i>Geocoris proteus</i> |
| 196 | | ツチカメムシ科 | ハマベツチカメムシ | <i>Byrsinus varians</i> |
| 197 | | コバナナガカメムシ科 | コバナナガカメムシ | <i>Dimorphopterus pallipes</i> |
| 198 | | アオバハゴロモ科 | トビイロハゴロモ | <i>Mimophantia maritima</i> |
| 199 | | ウスバカゲロウ科 | コカスリウスバカゲロウ | <i>Distoleon contubernalis</i> |
| 200 | | ウスバカゲロウ科 | クロコウスバカゲロウ | <i>Myrmeleon bore</i> |

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

| 展示ブロック順 | 科名 | 種名 | 学名 |
|---------|-----------|------------------|---|
| 201 | オサムシ科 | ナガヒョウタンゴミムシ | <i>Scarites terricola</i> |
| 202 | オサムシ科 | ホソヒョウタンゴミムシ | <i>Scarites acutidens</i> |
| 203 | オサムシ科 | オサムシモドキ | <i>Craspedonotus tibialis</i> |
| 204 | オサムシ科 | ミズキワゴミムシの仲間 | Bembidiinae sp. |
| 205 | オサムシ科 | ウスアカクロゴモクムシ | <i>Harpalus sinicus</i> |
| 206 | オサムシ科 | キイロチビゴモクムシ | <i>Acupalpus inornatus</i> |
| 207 | ガムシ科 | コケシガムシ | <i>Cercyon aptus</i> |
| 208 | ガムシ科 | フチトリケシガムシ | <i>Cercyon dux</i> |
| 209 | エンマムシ科 | ルリエンマムシ | <i>Saprinus splendens</i> |
| 210 | エンマムシ科 | ハマベエンマムシ | <i>Hypocaccus varians</i> |
| 211 | エンマムシ科 | ヒメツヤエンマムシ | <i>Hister simplicisternus</i> |
| 212 | ハネカクシ科 | ツヤウミベハネカクシ | <i>Philonthus nudus</i> |
| 213 | ハネカクシ科 | アバタウミベハネカクシ | <i>Cafius vestitus</i> |
| 214 | ハネカクシ科 | アカウミベハネカクシ | <i>Cafius rufescens</i> |
| 215 | ハネカクシ科 | ホソウミベハネカクシ | <i>Cafius algarum</i> |
| 216 | ハネカクシ科 | オオハネカクシ | <i>Creophilus maxillosus</i> |
| 217 | ハネカクシ科 | ウスアカヒゲフトハネカクシ | <i>Aleochara puberula</i> |
| 218 | ハネカクシ科 | フタモンヒゲフトハネカクシ | <i>Aleochara bipustulata</i> |
| 219 | ハネカクシ科 | ツヤケシヒゲフトハネカクシ | <i>Aleochara fucicola</i> |
| 220 | ジョウカイモドキ科 | クロキオビジョウカイモドキ | <i>Laius niponicus</i> |
| 221 | ゴミムシダマシ科 | ハマヒョウタンゴミムシダマシ | <i>Idisia ornata</i> |
| 222 | ゴミムシダマシ科 | ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ | <i>Idisia vestita</i> |
| 223 | コメツキムシ科 | アカアシコハナコメツキ | <i>Paracardiophorus sequens sequens</i> |
| 224 | ゴミムシダマシ科 | オオスナゴミムシダマシ | <i>Gonocephalum pubens</i> |
| 225 | ゴミムシダマシ科 | カクスナゴミムシダマシ | <i>Gonocephalum recticolle</i> |
| 226 | ゴミムシダマシ科 | スナゴミムシダマシsp. | <i>Gonocephalum sp.</i> |
| 227 | ゴミムシダマシ科 | マルチビゴミムシダマシ | <i>Caedius marinus</i> |
| 228 | ゴミムシダマシ科 | ヒメホソハマベゴミムシダマシ | <i>Micropedinus pallidipennis</i> |
| 229 | ゴミムシダマシ科 | クロズハマベゴミムシダマシ | <i>Epiphaleria atriceps</i> |
| 230 | アリモドキ科 | クロチビアリモドキ | <i>Anthicomorphus niponicus niponicus</i> |
| 231 | アリモドキ科 | クロホソアリモドキ | <i>Anthicus baicalicus</i> |
| 232 | マメゾウムシ科 | クロマメゾウムシ | <i>Bruchus loti</i> |
| 233 | オトシブミ科 | シリプトチョッキリ | <i>Chokkirius truncatus</i> |
| 234 | ゾウムシ科 | トビイロヒョウタンゾウムシ | <i>Scepticus uniformis</i> |
| 235 | ゾウムシ科 | ケチビコフキゾウムシ | <i>Sitona hispidulus</i> |
| 236 | ツチバチ科 | オオモンツチバチ | <i>Scolia histrionica japonica</i> |
| 237 | クモバチ科 | アカゴシベッコウ | <i>Anoplius reflexus</i> |
| 238 | ケラトリバチ科 | コオロギバチsp. | <i>Liris sp.</i> |
| 239 | アナバチ科 | ヌカダカアナバチ | <i>Tachysphex japonicus</i> |
| 240 | フシダカバチ科 | キスジツチスガリ | <i>Cerceris arenaria yanoi</i> |
| 241 | ハキリバチ科 | キヌゲハキリバチ | <i>Megachile kobensis</i> |
| 242 | ハエトリグモ科 | ハエトリグモの仲間 | Salticidae spp. |
| 243 | ツルギアブ科 | シロツルギアブ | <i>Spiriverpa argentata</i> |
| 244 | キモグリバエ科 | キモグリバエ科sp. | Chloropidae sp. |
| 245 | ハナバエ科 | ツマグロイソバエ | <i>Fucellia apicalis</i> |
| 246 | ニクバエ科 | ハマベニクバエ | <i>Sarcophaga alba</i> |
| 247 | ハマベバエ科 | ハマベバエ | <i>Coelopa frigida</i> |
| 248 | ハエ目の一種 | ハエ目の一種 | Diptera sp. |
| 249 | アゲハチョウ科 | キアゲハ | <i>Papilio machaon</i> |
| 250 | ウスバカゲロウ科 | ホシウスバカゲロウ | <i>Glenuroides japonicus</i> |
| 251 | ウスバカゲロウ科 | モイワウスバカゲロウ | <i>Epacanthaclisis moiwana</i> |
| 252 | ウスバカゲロウ科 | ウスバカゲロウ | <i>Baliga micans</i> |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。